

# 会 議 報 告 書

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| 会議名           | 令和6年度 第1回三島市民生涯学習センター運営委員会議  |  |
| 日時            | 令和6年6月6日(木) 午後3時から4時20分まで  |  |
| 場所            | 三島市民生涯学習センター 5階 ミーティングルーム  |  |
| 出席者           | センター<br>運営委員   | 碓井委員長、朝日委員、篠原委員、佐野委員、白井委員<br>原委員   |
|               | 事務局側   | 小塚教育長、鈴木教育推進部長、鈴木教育推進部主任、<br>沼上生涯学習課長、渡邊図書館長、及川文化財課長、<br>稲木係長、星谷係長、土屋主事、前田会計年度任用職員 |
| 傍聴人           | なし(公開会議、傍聴人定員2名)   |  |
| 項目            | 趣 旨  |  |
| 1 開 会         |  |  |
| 2 委嘱状交付       |  |  |
| 3 教育長挨拶       | ● <b>教育委員会</b><br>鈴木教育推進部長より挨拶   |  |
| 4 運営委員長<br>挨拶 | ● <b>センター運営委員</b><br>碓井運営委員長より挨拶   |  |
| 5 職員紹介        | 鈴木教育推進部長より紹介   |  |
| 6 議 題         | (1) <b>令和5年度施設運営報告及び令和6年度施設運営予定について</b><br>生涯学習係長より資料に沿って説明  |  |
| 委員            | (質問)<br>令和5年度三島市民生涯学習センターの利用状況について、児童センターや生涯学習センター利用者数は令和4年度に比べれば伸びているが、平成29年度に比べると半減している。これを少子化と一言で済ませてよいのか、半減ではいけないと施策を講じるのか。またどのような対応をしているのか。 |  |
| 女性青少年係長       | 児童センターの利用者については少子化だけでなく、児童センターを使用する3歳以上の子どもの利用者がコロナ前に比べ減少していることも一因である。   |  |

|                 |   |
|-----------------|---|
| 女性青少年係長<br>(続き) | この年代は保護者同伴が条件であり、働く保護者が増えた結果、同伴が出来ず、コロナ前に比べ利用者の減少という形で表れている。  |
| 生涯学習係長          | 幅広い世代に利用していただくため、新たなリカレント教育や働く世代に向けた利用法を促す取り組みを考え、コロナ前の状態に戻るよう努める。  |
| 委員              | 施策については様々な案をよく検討し、利用者の満足度を高めていくだけでなく、生涯学習センターに来られないような方についても目を向けてもらいたい。   |
|                 | <p><b>(2) 令和5年度事業報告及び令和6年度事業予定について</b><br/>各課より資料に沿って説明</p>   |
| 委員              | <p>(質問)</p> <p>令和5年度には女性教育事業という事業の中に中央女性学級があるが、令和6年度では成人教育事業という事業の中にある。統括されたのか。</p>   |
| 生涯学習課長          | 令和6年度予算で成人教育事業という枠の中に組み込まれたためこのような表記となっている。   |
| 委員              | 図書館の児童サービス事業にあるおはなし会の参加人数について表記がないのはなぜか。また、絵本のまち三島事業は令和5年度の子どもと本の講座に追加して発展した事業だと認識している。多くの方に本を好きになってもらい、この生涯学習センターを利用し続けるきっかけになる可能性をもつ事業であるため、ぜひ推し進めてもらいたい。 |
| 図書館長            | おはなし会の人数については毎回人数を数えていないため、このような表記となっている。また、絵本のまち三島事業については、これ単体での周知は難しいため、今までも行っている図書館講座やおはなし会、学校への本の紹介も行い、継続的に利用する幼稚園、保育園、放課後児童クラブにも引き続き呼び掛けていく。           |
| 委員              | おはなし会については今後人数の把握によって読み聞かせの評価などを得られることがあるため、何かしらの方法で把握しておく方がよい。また、絵本のまち三島事業については単発事業として扱うのではなく、生涯学習センター内で事業を合わせてより魅力を高めてもらうような工夫をしてもらいたい。                   |
| 委員              | 絵本のまち三島事業については全国でも似たような事業を行っていると聞いている。絵本のまち三島事業だけに囚われず、学校図書など継続的に児童と関わるような事業についても大切にしてもらいたい。  |
| 図書館長            | 今年のジンタ号については西小学校を巡回に追加した。今後も徐々に巡回先を増やせるようであれば増やしていく。図書館に来ることが難しい方にとっては重要なものだと理解しているので、今後も継続的に行っていく。   |
| 委員              | 高齢化が進んでいる中でこういった事業が非常にありがたいと聞いている。今後も市民との直接の関わりがある事業については継続的に行ってもらいたい。  |
| <b>7 報告事項</b>   | <p><b>(1) 吸収式冷温水発生機の更新修繕について</b><br/>生涯学習係長より資料に沿って説明</p> <p><b>(2) 館内案内板の途中経過について</b></p>  |

|              |   |
|--------------|---|
|              | 生涯学習係主事より資料に沿って説明   |
| 委員           | (質問)<br>館内案内板に付け加えて、新規の人が足を運ぶ際に生涯学習センターの看板が敷地内にあり、道路から非常に見づらく分かりづらい。中郷文化プラザのように矢印看板のようなものはないのか。   |
| 生涯学習課長       | 愛染院の信号付近に矢印の看板はあるが、入り口付近にはない。また生涯学習センターの看板については一度持ち帰り検討する。  |
| 図書館長         | 議題にて質問をいただいたおはなし会の人数について、毎週水曜日に行われているおはなし会は476人、スペシャルおはなし会については111人の合計587人となる。  |
| <b>8 その他</b> |   |
| 委員           | (質問)<br>2階にある休憩スペースの利用率が高いように感じる。この場所に強い需要があるところの表れではないか。学生の需要を受けられる施設がないためにこの場所に集まっているのか、利便性が高いから集まっているのかはっきりさせ、学生を受け入れるかどうかを考える必要がある。その上で需要に応えるなら受け入れ対応について検討し、施設の方針にそぐわないのであれば他の施設を紹介すべきだ。 |
| 教育推進部主任      | 図書館の2階、視聴覚コーナーに学習室として高校生、中学生が勉強できるスペースがある。しかし周知の方が足りていないため、今後周知の方を進める。  |
| 委員           | 居場所の良い場所に集まると考えられるので、そういった需要に応えられるような環境づくりをお願いします。  |
| <b>9 閉会</b>  |   |